



NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

第14回通常総会議事録

- 第一号議案 議長の選任
- 第二号議案 放送批評懇談会 2017 年度事業報告
- 第三号議案 放送批評懇談会 2017 年度決算報告
- 第四号議案 放送批評懇談会第 14 期 15 期役員
- 第五号議案 放送批評懇談会 2018 年度事業計画
- 第六号議案 放送批評懇談会 2018 年度収支予算

放送批評懇談会

2018年6月17日



NPO放送批評懇談会

第14回通常総会 2018

特定非営利活動法人放送批評懇談会

<第14回通常総会>

■開催日 2018年6月17日

■会場 TKP新宿カンファレンスセンター
カンファレンスルーム 4A

■会勢 <正会員>
192名 (入会7名、退会10名)
<維持会員>
141社 (入会3社、退会2社)

■出席者 29名
市村 元 出田幸彦 奥 律哉 音 好宏
風間恵美子 茅原良平 隈部紀生 五井千鶴子
小林 毅 小林英美 坂本 衛 桜井聖子 嶋田親一
鈴木健司 鈴木嘉一 滝野俊一 田中典子
千葉邦彦 豊田拓臣 中島好登 丹羽美之
信井文夫 橋本 隆 服部千恵子 稗田政憲
藤田真文 堀木卓也 水島宏明 山田健太

■委任状提出者 85名

■出席予定者と委任状提出者で計114名



NPO放送批評懇談会

第14回通常総会 2018

第一号議案 議長の選任

定款第27条「総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する」の規定に則り、出席の正会員のなかから、「田中典子氏」を合議により選出。

第二号議案

放送批評懇談会

2017 年度事業報告



2017年度総務事業報告

1. 会員管理、会議運営、事務局業務を行い、事業部門の活動を支援しました。
2. 第9回志賀信夫賞
正会員による候補者推薦を受け、選考委員会で選考を行い、弁護士・BPO 放送倫理検証委員会前委員長の川端和治さんを選出し、第55回ギャラクシー賞贈賞式で賞状と盾をお贈りしました。
選考委員会：音 好宏（委員長） 橋本 隆 藤田真文 藤久ミネ 川喜田尚 丹羽美之
3. ギャラクシー賞55周年記念賞
正会員による候補者推薦を受け、選考委員会で選考を行い、脚本家・倉本聰さんを選出して、第55回ギャラクシー賞贈賞式で賞状と盾をお贈りしました。
選考委員会：音 好宏（委員長） 橋本 隆 藤田真文 藤久ミネ 川喜田尚 丹羽美之 稗田政憲 出田幸彦
4. 第55回ギャラクシー賞贈賞式
2018年5月31日（木曜日）、セルリアンタワー東急ホテルボールルームにて「第55回ギャラクシー賞贈賞式・懇親会」を開催しました。
実行プロジェクトメンバーは演出・入江たのし理事、総務・中島好登事務局長を中心に編成しました。出席者は報道陣、スタッフも含めて、約650名でした。
5. NHK BSプレミアム「ザ・ベストテレビ2017」
2017年10月1日（日）、2日（月）。2日に、第54回ギャラクシー賞テレビ部門大賞を贈られたNHKスペシャル「ある文民警察官の死～カンボジアPKO 23年目の告白～」が放送されました。



6. NHKラジオ第1「ザ・ベストラジオ2017」
2017年10月8日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)。14日に、第54回ギャラクシー賞ラジオ部門優秀賞のNHK広島「あの日、母は少女だった～被爆の記憶をたどる母と息子の対話～」が放送されました。
7. 第17回「日韓中テレビ制作者フォーラム in 東京」
2017年9月24日～27日、東京・上智大学で開催された第17回大会「日韓中テレビ制作者フォーラム」に協力し、大会の成功に寄与しました。



2017年度出版編集事業報告

1. 昨年度は下記のメンバーで運営しました。

委員長	水島宏明				
副委員長	鈴木健司				
委員	氏家夏彦	岡田芳枝	内藤圭介	西川博泰	
	桢山珠美	藤田高弘	渡邊 悟		
編集スタッフ	中島好登	福島美子	山本夏生	齋藤茜里	

2. 毎月6日に「GALAC」プリント版(3000~4000部)と電子版で発行しました。

- 1) 特集テーマは以下のとおりです。

2017年10月号 放送界のダイバーシティを検証する

2017年11月号 ドラマよ、“粹”を超えろ!

2017年12月号 新型ドキュメンタリー最前線

2018年1月号 第55回上期ギャラクシー賞

2018年2月号 変わる!?選挙報道

2018年3月号 アニメ新世紀

2018年4月号 放送の新しい風は名古屋から

2018年5月号 アイドルの作られ方

2018年6月号 バラエティは不滅か? /番組制作費の実態

2018年7月号 決定!第55回ギャラクシー賞 /安倍政権の放送改革方針

2018年8月号 詳報!第55回ギャラクシー賞「贈賞式」「受賞のことば」

2018年9月号 医療ドラマの魅力 /「おっさんずラブ」現象(仮題)

- 2) ドラマ、ドキュメンタリー、アニメ、アイドル、バラエティなど、コンテンツを多角的に見つめました。「テレビ砂漠の歩き方」「テレビ・ラジオお助け法律相談所」などを新設し、連載面の充実を図りました。



- 3) 選奨事業委員会の見る会・聴く会報告、企画事業委員会のセミナー抄録など、各委員会と連携したページ作りにつとめました(2017年12月号、2018年1月号)。
3. 放懇オンラインショップ、富士山マガジンサービスでの直販に努めました。2017年7月号、9月号、12月号などで実績を上げました。富士山マガジンサービスではキャンペーンを実施し、定期購読者の掘り起こしに努力しました。
4. インターネット対応を進めました。
 - 1) ニュースサイト「goo」「@nifty」「東洋経済 online」に記事の提供を行いました。
 - 2) Gメンバーサイトに電子版を提供しました。



2017年度選奨表彰事業報告

1. 本年度は下記の委員の構成で運営しました。

選奨事業委員長 稗田政憲

〈テレビ部門委員会〉

委員長 出田幸彦

副委員長 岩根彰子

委員 岩城浩幸 太田省一 岡室美奈子 小泉世津子
鈴木誠一郎 西森路代 旗本浩二 福島俊彦
藤岡美玲 藤田真文

〈ラジオ部門委員会〉

委員長 橋本 隆

副委員長 五井千鶴子

委員 伊藤友治 鶴飼一嘉 大谷知史 北郷裕美 黄 莉香
小林浩子 仲宇佐ゆり 永須智之 中村亮平 三原 治

〈CM部門委員会〉

委員長 稗田政憲

副委員長 桧山珠美

委員 泉 綾子 国枝智樹 汲田亜紀子 鈴木武人
鈴木ゆかり 野上信子 服部千恵子 星野 裕
本庄雅之 横川紀子 若尾一彦

〈報道活動部門委員会〉

委員長 丹羽美之

副委員長 市村 元

委員 小川邦雄 河野尚行 櫻井 要 田中早苗 谷岡理香
藤久ミネ 古川柳子 矢後政典

選奨事業委員会担当事務局 福島美子 齋藤茜里

2. 第55回ギャラクシー賞各部門の選考のため、以下の作業を行いました。



<テレビ部門委員会>

・2017年4月から2018年3月まで、毎月月評会を開き月間賞4本を選びました。

選考結果を「GALAC」誌上に月間賞選評および番組短評一覧として発表しました。毎月20日を情報解禁日とし、月間賞の選考結果をプレスリリースしました。

・2017年9月9日～28日、10月7日～22日に、第55回上期自薦作品145本を視聴。10月29日、月間賞(24本)と自薦作品の中から上期入賞作品7本を選出しました。

・2018年3月9日～27日、4月7日～16日に、第55回下期自薦作品138本を視聴。4月23日、月間賞(24本)と自薦作品の中から下期入賞作品7本を選出しました。同時に特別賞、個人賞、フロンティア賞も選びました。フロンティア賞は、これまで選奨委員による推薦で選考してきましたが、2017年度からは推薦に加えて年1回募集も行うこととしました。応募作品10本、推薦作品3本から選考しました。

<ラジオ部門委員会>

・2017年4月から2018年3月まで、毎月定例会を開催してラジオについての合評を行いました。

・2017年10月、第55回上期50本の自薦作品を聴取し、10月23、26日に各部門の上期候補作品を選出しました。

・2018年4月、下期42本の自薦作品を聴取し、4月16、17日に各部門の下期候補作品を選出しました。

・4月23日、上期下期を合わせた候補作品の中から入賞作品8本を選出し、DJパーソナリティ賞も選出しました。

・2017年7月23日にTBSセミナー室、9月17日にTOKYO FMジェットストリーム大会議室で「ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、制作者と語り合う会」を開催しました。

<CM部門委員会>

・2017年4月から2018年3月まで、毎月定例会を開催して



CMについての合評を行いました。

- ・2017年10月30日、上期91本(テレビ)、55本(ラジオ)の自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出しました。
- ・2018年4月24日、下期99本(テレビ)、76本(ラジオ)の自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出しました。続いて最終選考会を行い、上期下期合わせた候補作品の中から13本の入賞作品を選出しました。
- ・2017年9月2日に日本大学芸術学部江古田校舎E B 1教室にて「第54回ギャラクシー賞CM入賞作品を見る会」を開催しました。

<報道活動部門委員会>

- ・2017年10月22日、上期9本の自薦作を視聴・聴取し、3本の候補作品を選出しました。
- ・2018年4月19日、下期21本の自薦作を視聴・聴取し、7本の候補作品を選出しました。上期下期合わせた候補作品の中から6本の入賞作品を選出しました。
- ・2017年7月と2018年2月に委員会を開催して、報道活動についての情報交換を行いました。
- ・「GALAC」連載ページを委員が分担し、全国各地における報道活動の紹介、各局報道活動への期待、特定のテーマに関する報道活動についての論考などを執筆しました。
- ・2017年7月22日に東京大学本郷キャンパス 石橋記念ホールで「ギャラクシー賞報道活動部門受賞作を見る会&第21回みんなでテレビを見る会 合同企画」を開催しました。



2017年度企画開催事業報告

1. 2017年度の企画事業委員会は、下記の委員で構成しました。
委員長 川喜田尚
副委員長 桜井聖子
委員 奥 律哉 田川義博 堀木卓也 松崎泰弘 元橋圭哉
柳川素子
2. 2017年度は引き続きタイムリーなワンポイントのテーマで中規模のセミナーを9月に開催しました。今回はラジオ系セミナーとし、80名定員のところ94名の参加があり好評を得ました。収支については約50,000円の黒字となりました。また「GALAC」との連携を図り、セミナーの抄録を掲載できたことも評価されました。セミナーの概要は以下の通りです。

タイトル：

「ラジオの可能性を真剣に考える3～東阪FM局の矜持とチャレンジ」

日時：2017年9月13日（水）14：00～16：30

会場：明治記念館 107-0051 東京都港区元赤坂2-2-23

Tel. 03-3403-1171

アジェンダ

14：00～15：10 【ビジョン、戦略、チャレンジ】

パネリスト：株式会社FM802 代表取締役社長 栗花落 光氏

- ・2波体制の決断と苦労～5年目で軌道に
- ・2波で発見したポジショニングの重要性

株式会社エフエム東京 取締役営業局長 村上正光氏

- ・12年目の人気ドラマ「あ、安部礼司」のビジネスモデル



NPO放送批評懇談会

第14回通常総会 2018

・新しいファンをつかむ「未来授業」「未確認フェスティバル」

15:10～15:25 休憩

15:25～16:30 【真剣、本音ディスカッション】

登壇者+会場からの質問等

モデレーター：川喜田 尚

参加費：一般8,000円、維持会員社5,000円（1名あたり）、
正会員3,000円

定員：80名



2017年度広報事業報告

- 以下の委員で運営しました。
委員長 滝野俊一
副委員長 茅原良平
委員 飯田みか 石橋さや夏 中平良磨 永田俊和
西川博泰
事務局 中島好登 齋藤茜里
- SNSなどネットを使った広報活動に力を入れました。すでに開設しているツイッター、インスタグラムに加え、5月にフェイスブックを開設。ギャラクシー賞や「GALAC」、放懇セミナーなど会の事業のパブリシティに努めました。
・6月の第54回ギャラクシー賞贈賞式で受賞結果を写真とともに速報。第55回贈賞式では、さらに委員長講評の動画なども掲載しました。
・「GALAC」の広報も積極的に行いました。特に星野源表紙の9月号は、インスタグラム：いいね2,392件、フェイスブック：リーチ24,162人があり、ツイッターでも盛り上がりを見せ、売上増に貢献しました。
- 月間賞の受賞結果をSNSで告知したほか、プレスリリースをWebニュースのサイトにも配信しました。
- 準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」（以下、Gメンバー）の会員を増やすべく、SNSなどを使った広報活動に力を入れました。また、期間限定で「会費半額キャンペーン」や学生向けの「特別入会制度」を実施しました。Gメンバーの会員数は148名（3月31日現在）でした。
- マイベストTV賞を運営し、第12回マイベストTV賞グランプリを日曜劇場「陸王」（TBSテレビ）に贈りました。



マイベストTV賞は、放送批評懇談会正会員とGメンバーの投票で選出しました。毎月の投票結果をフェイスブックやインスタグラム、ツイッターに掲載することで関心を高めました。

6. ホームページのリニューアルを検討しました。

第三号議案

放送批評懇談会

2017 年度決算報告

収 支 計 算 書

2017年4月1日～2018年3月31日まで（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	2,900,000	2,651,250	248,750
維持会費収入	42,500,000	42,460,000	40,000
Gメン会費収入	500,000	254,521	245,479
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	32,200,000	33,427,964	△ 1,227,964
企画開催事業収入	1,000,000	462,000	538,000
周年事業収入		24,000	△ 24,000
3. その他の収入			
出版編集事業収入	4,000,000	7,868,268	△ 3,868,268
広告料収入	5,000,000	4,375,400	624,600
4. 雑収入			
受取利息	0	206,480	△ 206,480
当期収入合計	88,100,000	91,729,883	△ 3,629,883
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	8,000,000	8,071,600	△ 71,600
式典費	12,100,000	12,448,300	△ 348,300
企画開催費	700,000	441,362	258,638
原稿料	5,700,000	5,683,460	16,540
編集費	4,200,000	3,912,629	287,371
雑誌印刷費	17,800,000	19,038,183	△ 1,238,183
発送費	2,000,000	2,307,322	△ 307,322
2. 管理費			
給料手当	17,500,000	17,686,225	△ 186,225
人件費	5,000,000	2,678,589	2,321,411
法定福利費	2,900,000	2,790,902	109,098
福利厚生費	180,000	120,888	59,112
旅費交通費	750,000	638,218	111,782
通信費	720,000	573,217	146,783
資料費	60,000	47,716	12,284
会議費	320,000	320,723	△ 723
水道光熱費	280,000	286,553	△ 6,553
事務用品費	120,000	87,681	32,319
消耗品費	380,000	352,864	27,136
備品費	400,000	193,914	206,086
諸印刷費	500,000	399,022	100,978
広報費	1,200,000	692,828	507,172
支払手数料	220,000	212,144	7,856
賃借料	4,100,000	4,054,572	45,428
保険料	710,000	731,200	△ 21,200
交際費	150,000	146,650	3,350
雑費	880,000	892,854	△ 12,854
諸会費	150,000	151,644	△ 1,644
租税公課	80,000	71,600	8,400
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	0
志賀基金繰入		4,000,000	△ 4,000,000
当期支出合計	88,100,000	90,032,860	△ 1,932,860
当期収支差額	0	1,697,023	△ 1,697,023

貸借対照表

2018年3月31日現在(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	48,423,061		
未収入金	3,312,500		
所有物	286,625		
流動資産合計		52,022,186	
2. 固定資産			
賃借権利金等	165,807		
差入保証金	4,099,500		
特定資産			
志賀基金	63,711,174		
退職給付引当金	26,104,068		
固定資産合計		94,080,549	
資産合計			146,102,735
II. 負債の部			
未払金	7,171,476		
前受金	2,370,000		
預り金	441,828		
退職給付引当金	26,104,068		
負債合計			36,087,372
III. 正味財産の部			
志賀基金	100,000,000		
その他の正味財産	10,015,363		
正味財産合計			110,015,363
(うち基本金)			0
(うち当期正味財産増加)			5,697,023
負債及び正味財産合計			146,102,735

正味財産増減計算書

2017年4月1日～2018年3月31日まで(単位:円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
現金預金増加額	5,566,339		
未収入金増加額	285,000		
賃借権利金増加額	132,645		
特定資産増加額	1,201,821		
2. 負債減少額			
前受金減少額	60,000		
増加額合計		7,245,805	
II. 減少の部			
1. 負債増加額			
未払金増加額	366,073		
預り金増加額	182,709		
退職給付引当金増加額	1,000,000		
減少額合計		1,548,782	
当期正味財産増加額			5,697,023
前期繰越正味財産額			104,318,340
期末正味財産額			110,015,363

第四号議案

放送批評懇談会

第 14 期 15 期役員



NPO放送批評懇談会

第14回通常総会 2018

放送批評懇談会 第14期15期役員

- 理事長 音 好宏
副理事長 橋本 隆
専務理事 藤田真文 (総務担当)
常務理事 藤久ミネ
川喜田尚
丹羽美之 (選奨事業委員会報道活動部門委員長)
理事 水島宏明 (出版編集委員長)
稗田政憲 (選奨事業委員長)
出田幸彦 (選奨事業委員会テレビ部門委員長)
五井千鶴子 (選奨事業委員会ラジオ部門委員長)
服部千恵子 (選奨事業委員会CM部門委員長)
桜井聖子 (企画事業委員長)
滝野俊一 (広報委員長)
市村 元
入江たのし
岩根彰子
奥 律哉
茅原良平
上滝徹也
小林 毅
坂本 衛
鈴木健司
鈴木嘉一
桧山珠美
山田健太
中島好登 (事務局長)
- 監事 隈部紀生
嶋田親一

第五号議案

放送批評懇談会

2018 年度事業計画



2018年度総務事業計画

1. 会員管理、会議運営、事務局業務を行い、事業部門の活動を支援します。
2. 正会員の加入促進
正会員の加入促進に努めます。正会員の増員によって会の基盤を強め、より多彩な活動を支えます。
3. 維持会員の加入促進
維持会員の増員によって会の財政基盤を強めることを目指します。
4. Gメンバー、Gメンバーサイトの管理
広報委員会と連携し、「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」の管理に当たり、運営を支援します。Gメンバーサイトの維持管理に当たり、正会員専用ページの充実にも努めます。
5. 「GALAC」広告
出版編集委員会と連携し、「GALAC」広告の営業に努力するほか、スペースの有効活用について研究します。
6. 第56回ギャラクシー賞贈賞式
第56回ギャラクシー賞の開催準備に当たります。
7. ギャラクシー賞データベース
「ギャラクシー賞データベース」の管理運営に当たります。
8. 志賀信夫賞
第10回の選考、表彰を行います。
9. 第18回「日韓中テレビ制作者フォーラム・韓国大会」
2018年に開催予定される第18回「日韓中テレビ制作者フォ



「ラム・韓国大会」に協力し、大会の成功に寄与します。

10. 事務局の労働環境、管理・業務を整備し、次世代につながる事務局体制を模索します。



2018年度出版編集事業計画

1. 本年度は下記のメンバーで運営します。

委員長	水島宏明
副委員長	鈴木健司 氏家夏彦
委員	太田省一 岡田芳枝 新川周平 宮崎美紀子 渡邊 悟
編集スタッフ	中島好登 福島美子 山本夏生 齋藤茜里

2. 毎月6日に「GALAC」を発行します。本年度の運営方針は以下のとおりです。

- 1) テレビやラジオという「放送」が現在、大きな転機を迎えている状況を強く意識し、「放送」にかかわる諸問題に問題提起しつつ、次の時代を見据えながら放送文化の向上に貢献する放送批評を雑誌として行います。
- 2) 特集ページ・連載ページ・各選奨委員会による作品批評ページの3本柱で構成し、放送にかかわる制作者、送り手、受け手などそれぞれの立場の人たちにとって「プラスα」を伝える雑誌であるよう心がけます。
- 3) 政府や業界などに付度しないジャーナリズム精神でコントロバーシャルなテーマにも積極的にチャレンジする編集姿勢を貫きます。
- 4) 特集ページではタイムリーなテーマを選定し、タイミングを失することなく、スピーディーな展開を目指していきます。
- 5) ネットでの記事発信や電子出版などにも力を入れて、信頼される放送批評誌としての存在感と影響力を高めていきます。



- 6) 選奨事業委員会や企画事業委員会と連携し、放送をめぐる様々な活動に多面的に寄与していきます。
- 7) 広報委員会と連携し、「GALAC」の宣伝・広報に努めます。
- 8) 「GALAC」広告の営業に努力するとともに、有効活用を研究します。



2018年度選奨表彰事業計画

1. 2018年度は下記の委員構成で運営します。

選奨事業委員長 稗田政憲

<テレビ部門委員会>

委員長 出田幸彦

副委員長 岩根彰子

委員 岩城浩幸 小泉世津子 西森路代 旗本浩二
福島俊彦 藤岡美玲

<このほかに4名交渉中です>

<ラジオ部門委員会>

委員長 五井千鶴子

副委員長 川喜田 尚

委員 今村和夫 掛原雅行 北郷裕美 黄 莉香
小林浩子 仲宇佐ゆり 松浦正和 迎 康子
本村 隆 山田真嗣

<CM部門委員会>

委員長 服部千恵子

副委員長 汲田亜紀子

委員 家田利一 泉 綾子 風間恵美子 国枝智樹
島崎英雄 鈴木武人 鈴木ゆかり 野上信子
星野 裕 本庄雅之 山口菜穂美

<報道活動部門委員会>

委員長 丹羽美之

副委員長 市村 元

委員 小川邦雄 河野尚行 境真理子 櫻井 要 関 美礼
中村正敏 原 真 藤久ミネ 古川柳子

選奨事業委員会担当事務局 福島美子 齋藤茜里

2. 第56回ギャラクシー賞(2018年度)の審査、ならびに贈賞式を行います。



3. 2018年度の運営方針は以下のとおりです。

今年度は昨年度（第55回ギャラクシー賞）と変わらず、各部門ともそれぞれに熱い討議を重ね、より公正にかつ緻密で慎重な選考を行う所存です。第55回では、テレビ部門がフロンティア賞の応募を受け付け、CM部門はラジオCMを選考対象に加え、基本となる各部門の地道な活動の結果もあり応募数も順調でした。本年度も各部門月例会の充実と受賞作品を媒介にPR活動の強化を図り、制作者と視聴者をつないでいく活動「ギャラクシー賞入賞作品を見て聴いて、制作者と語り合う会」などを開催することで更なる委員会の強化を続けていきたいと思っております。

1) テレビ部門委員会の運営

① テレビ視聴が減少傾向にあると言われております。その一方でネットによる動画配信が拡大するなど、メディア環境は大きく変化しつつあります。しかしテレビは今も社会に大きな影響力をもち、民主主義社会を支え、心豊かな社会を実現していくためのメディアとして大きな役割を担っています。これからも豊かな放送文化を創造していくためには、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなどそれぞれの番組が新鮮かつ多様でなければなりません。こうした視点をふまえながら、テレビ部門委員会としては、テレビ番組に対する真摯で活発な批評活動をさらに進め、引き続き批評の創造・発信拠点となることを目指します。

② テレビ部門委員会は、毎月、月評会を開いて各委員が推薦する番組の中から活発な意見交換を通して「月間賞」を選びます。また年2回、各放送局、プロダクションなどからエントリーされる応募番組の選考を行い、「月間賞」作品も加えて上期、下期それぞれで「入賞作品」および「奨励賞」を選びます。そのうえで年間を通して優秀な作品や個人に対して「大賞」「優秀賞」「選奨」「特別賞」「個人賞」を決定します。

また2015年度に新設した「フロンティア賞」は4年目となります。昨年度からは選奨委員の推薦に加えて年1回の募集も行うこととしました。メディア環境の大きな変化のなかで、テレビの新天地を開拓し、その未来や可能性を広げる意欲的な番組や活動



を顕彰し、「賞」のさらなる定着を図っていきます。

③ 上記の選考の過程や結果については毎月の「GALAC」誌上に掲載するとともに、年間を通した受賞作品は贈賞式で発表します。このほか、制作者をゲストに招いた受賞番組上映会や討論会などの開催にひきつづき努力します。

2) ラジオ部門委員会の運営

半数以上の委員の変更がありました。橋本前委員長が推し進めてきた基本方針に沿いつつ、セツインユースの低下現象にあるラジオ媒体の強化につながるよう、地道であっても積極的な提言となるように委員全員で審議し、ラジオの魅力ある情報を発信していきます。

① 定例合評会

毎月1回の定例合評会を開催します。今まで同様、全国のAM局、FM局、コミュニティ局の全番組を対象に、聴取番組を選び批評致します。合評会の議論の内容は「GALAC」誌にて公開します。試聴する番組のテーマを設定します。(過去の例・高試聴率を維持する沖縄ラジオの魅力 ・鉄道番組はなぜ聴き心地がいいのか ・長崎原爆の日の番組を聴く ・ラジオと音楽は最高の相棒 ・ご当地ラジオ ・若者はラジオの未来への投資 ・NHK「らしさ」と「らしくなさ」 ・ラジオは子供のころをつかめるか ・ラジコプレミアム新加入局の番組 ・深夜0時台の在京ラジオ)

番組の長所、あるいは改善したらと思う点などを幅広く議論し、番組の更なる充実を促します。

他局の制作者のヒントとなるような議論を目指します。新たに委員に加わった方々とも、意思の疎通をはかりながら運営していきます。

② ギャラクシー賞の選考

今まで同様議論を尽くします。ここ2年ほど応募数は70本前半でしたが、昨年度の実応募本数は92本と大幅に増加しました。応募はAM局が過半数をしめていますが、FM局はもちろん、コミ



ユニティ局からの応募も目立つようになりました。しかしながら、応募される局や制作陣のメンバーが固定化しているのが現状です。この点に留意しながら、更なる応募の増加が果たせるよう努力します。昨年度の入賞作品は大変高いレベルでした。優れた番組を発掘し、ラジオの魅力を再発信していきます。

③ 「GALAC」誌での活動

「ラジオ委員会としてどのような情報を発信するか」が最大かつ永遠のテーマです。

現在の「合評報告」をさらに充実させます。「生ワイド番組紹介」では全国の放送局を12のブロックにわけ、各地方ならではのユニークなワイド番組やDJパーソナリティを発掘します。2018年6月号からスタートした「ラジオデイズ」は従来の「トピックス」「ピープル」を合体させて1ページとしました。委員各自の視点からラジオへの提言、問題提起、ホットニュースなどをとりあげていきます。

④ 「ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、制作者と語り合う会」の開催

長く続いて来た会です。今年は25回目です。委員のメンバーがチェンジしたので開催のノウハウが若干こころもとないのが心配ではありますが、早目の準備で乗り切ります。

3) CM部門委員会の運営

第55回ギャラクシー賞はテレビCMに加えてラジオCMにも対象を広げ、応募数はテレビCM190本、ラジオCM131本の総計321本となりました。近年減少傾向にあった応募数が大きく増加する結果となり、テレビとラジオの応募作品の質も十分互角に戦える状況でした。今後は、ラジオCMを含めてより一層の適正な審査に注力していきます。またウェブCMの役割の検討など、メディアの拡大も長期的視野に入れてまいります。

CM委員会では以下の活動を通じ委員会運営を強化いたします。

① 選考会では、テレビ・ラジオCMの役割とギャラクシーの



魅力を確認しつつ、クリエイティブ力のある作品、感銘をあたえる作品、時代をリードする作品を発掘していきます。

② 月1回の月評会は、委員各々がリストアップした3本のCMを種多様にわたる視点から検討し、活発に批評活動を磨いてまいります。加えて、毎月のピックアップデータを「GALAC」誌面に反映できるようにしていきます。

③ 好評CMとして「GALAC」に載ったものをその制作者や広告主に送り、ギャラクシー賞応募への促進をはかりたいと思います。

④ ギャラクシー賞応募増につながるよう、クライアント、広告代理店、広告専門誌等へのPRに努めます。

⑤ ギャラクシー賞CM部門の認知を他部門の認知レベルに少しでも近づけるべく「ギャラクシー賞入賞CM作品を見る・聴く会」(仮称)を、今年も大賞受賞関係者をゲストに迎えて行います。

⑥ ラジオCMの応募対象について。ラジオCMを別枠で審査するかどうか、賞の本数の検討など、審査方法を含めて精度を上げていきたいと考えます。

4) 報道活動部門委員会の運営

① 報道活動部門は、放送批評懇談会の創立40周年を記念して2002年に創設されました。従来の賞やコンクールは、個々の「番組」の完成度や作品性を中心に評価を行ってきました。これに対して、報道活動部門は、個々の「番組」の枠組みでは必ずしも捉えきれない一連の報道「活動」を全体として評価するところに最大の特徴があります。番組内のシリーズ企画、長期間に及ぶ調査報道、局を挙げてのキャンペーン、ウェブや他メディアと連動した新しい展開など、多種多様な報道活動を対象にし、放送ジャーナリズムの活性化に寄与することを目的としています。

② 報道活動部門は応募制を採っています。年2回(上期・下期)、各社・各局からエントリーを受け付け、選考を行います。最終的に大賞1本、優秀賞2本、選奨3本を選びます。上記の選考の過程・結果は贈賞式及び「GALAC」誌上で発表します。



③ この他、年2回程度の合評会の開催、委員の持ち回りコラムの「GALAC」への掲載（報道活動部門トピックス）、「見る会、語る会」の開催などを通して、優れた報道活動を積極的に発掘・紹介すると同時に、多方面からの応募を促すよう努めます。



2018年度企画開催事業計画

1. 放送の今日的課題をめぐるシンポジウム、セミナー・研究会などを企画・立案・実施します。
2. 本年度の企画事業委員会は、以下の委員で構成します。
委員長 桜井聖子
副委員長 奥 律哉
委員 田川義博 長井展光 藤田高弘 松崎泰弘
(ほか若干名交渉中)
3. 2018年は、衛星基幹放送による超高精細度テレビジョン放送（BS等4K・8K放送）が12月から実用放送としてスタートします。
また、2020東京オリンピック・パラリンピックでのサービスを目指して、テレビ放送の同時配信の議論も進んでいます。
一方、通信の領域では、次世代移动通信「5G」のサービス開始を2020年に控えています。テクノロジーの進化に伴って、いよいよ放送と通信の融合・連携の真価が問われるフェーズに入りました。ラジオ、テレビともに放送メディアの更なるアイデンティティの強化が、ますます重要なテーマとなっています。

当委員会では、ジャーナリズム、放送文化、経営問題などを視野にいれ、前年度同様、タイムリーなワンポイントのテーマで中規模のセミナー、勉強会などを開催する方向で企画を行い、実施規模や時期についても合わせて検討いたします。
4. 基本方針案は以下の通りと致します。
 - ① 放送業界の活性化に貢献する。
 - ② 放送批評懇談会に相応しい質の高い企画を目指す。
 - ③ 他の委員会活動や「GALAC」との連携を一層強化する。



2018年度広報事業計画

- 以下の委員で運営します。

委員長	滝野俊一
副委員長	茅原良平
委員	飯田みか 石橋さや夏 中平良磨 永田俊和 西川博泰 (若干名の増員を検討中)
事務局	中島好登 齋藤茜里
- SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）を使った広報活動に、さらに力を入れます。
- @niftyなどのポータルサイトと連携した広報活動も積極的に行います。
- 準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」（以下、Gメンバー）の運営を行います。「アニメ」などの番組の特別投票の実施や独自のイベントの開催など、準会員制度の盛り上げとサービスの充実に努めます。
- Gメンバーの新規会員獲得のために、「会費半額キャンペーン」や学生向けの「特別入会制度」など各種キャンペーンを実施します。
- 親睦団体や大学関係者に働きかけるなどして、正会員およびGメンバーを獲得すべく草の根的な活動を行います。
- マイベストTV賞の月間ノミネート番組の投票を毎月実施します。そして、第13回「マイベストTV賞グランプリ」を決定し、第56回ギャラクシー賞贈賞式で表彰します。
- 放送批評懇談会のホームページのリニューアルを実施します。リニューアルではデザイン、機能を一新し、スマートフォンに対応



させます。

9. 総務と協力し、「ギャラクシー賞データベース」の改善を図ります。

第六号議案

放送批評懇談会

2018 年度収支予算

2018年度予算

2018年4月1日～2019年3月31日まで（単位：円）

科目	2017決算	2018予算	摘要
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	2,651,250	2,900,000	正会員会費
維持会費収入	42,460,000	42,500,000	維持会員会費
Gメンバ-会費収入	254,521	300,000	Gメンバ-会費
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	33,427,964	33,000,000	参加料, 贈賞式収入, レプリカ販売
企画開催事業収入	462,000	1,000,000	シンポジウム参加料
周年事業収入	24,000		
3. その他の収入			
出版編集事業収入	7,868,268	4,500,000	GALAC販売
広告料収入	4,375,400	4,500,000	GALAC広告
4. 雑収入			
受取利息	206,480		
当期収入合計	91,729,883	88,700,000	前年比97.2%
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	8,071,600	8,100,000	委員会運営, 見る聞く会, レプリカ, システム
式典費	12,448,300	12,800,000	ギャラクシー賞贈賞式開催費
企画開催費	441,362	700,000	委員会運営, 実施経費経費
原稿料	5,683,460	5,700,000	GALAC原稿料
編集費	3,912,629	4,000,000	委員会運営, GALAC編集費
雑誌印刷費	19,038,183	18,000,000	GALAC印刷費
発送費	2,307,322	2,050,000	GALAC発送費
2. 管理費			
給料手当	17,686,225	18,220,000	職員給与
人件費	2,678,589	4,100,000	契約職員, 臨時職員経費
法定福利費	2,790,902	2,900,000	社会保険など
福利厚生費	120,888	160,000	残業飲食, 職員福利厚生
旅費交通費	638,218	650,000	職員通勤費・交通費, 役員交通費
通信費	573,217	600,000	郵便, 宅配便, 電話, ネット
資料費	47,716	50,000	新聞, 雑誌, 書籍
会議費	320,723	330,000	理事会, プロジェクトの会議費用
水道光熱費	286,553	290,000	水道代, 電気代
事務用品費	87,681	100,000	事務用品, PC周辺機器
消耗品費	352,864	360,000	コピー機使用料, 日用品
備品費	193,914	300,000	映像音響機器, PC
諸印刷費	399,022	800,000	会員名簿, 封筒, 名刺など
広報費	692,828	1,200,000	Gメンバ-サイト, ホームページ, DB, 日韓中
支払手数料	212,144	200,000	振込手数料, 更新手数料
賃借料	4,054,572	4,100,000	事務所賃借, コピー機レンタル
保険料	731,200	710,000	保険（退職金補填）, 火災保険
交際費	146,650	150,000	冠婚葬祭, 中元, 歳暮
雑費	892,854	900,000	税理士, 社労士, NHK, WOWOW, JCOM
諸会費	151,644	150,000	友好団体会費
租税公課	71,600	80,000	法人都民税, 消費税, 収入印紙
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	毎年100万円の積み立て
志賀基金繰入	4,000,000		
当期支出合計	90,032,860	88,700,000	前年比98.5%



NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp/>